

前橋育英新聞

一戦必勝 ソフトボール部

インハイ宮崎

長距離移動の疲れも見せず、笑顔を見せる前橋育英ソフトボール部の選手たち

頂点目指し全員の力を結集

今大会のテーマは「感動は無限大」。今日まで、数えきれないほどの努力をし、全てはインターハイ出場のために取り組んできた各校。夢が叶わず涙をのんだチームの為に、そして、県の代表チームとして

の誇りを持ち、力を出し切る大会となる。令和最初の大会で優勝旗に名を刻むのは、どの高校になるのか。



令和元年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ソフトボール競技大会の開会式が27日、宮崎県日向市の文化交流センターで開かれた。全国48校が出場し、28日の初戦を皮切りに31日まで熱戦が繰り広げられる。

前橋育英は初のインターハイ出場となる。初戦の相手は選抜準優勝校で福岡代表の北九州市立高等学校と対戦する。全国屈指の強豪校だけに、初戦に勝てば、一気に上位に食い込む可能性がある。

部員数は43人と他校に引けを取らず、更にインターハイ出場を決めてからは、各県の代表チームと練習試合を行い、力をつけてきた。夏本番の暑い



頂点目指し全国48校が出場

群馬代表 前橋育英 勝利への執念

季節が到来。それ以上に熱き戦いを期待したい。群馬では前橋育英野球部が夏の甲子園切符を手にした。前橋育英への追い風は、どこよりも強く吹いている。